

1	公開授業実施日時	2018年2月5日（月）14:45～15:30
2	場所	京都教育大学附属桃山小学校 4年2組教室
3	対象	4年2組（小学校4年生）35名
4	授業者	樋口 万太郎
5	島名	グローバル・エシックス
6	単元名	高レベル放射性廃棄物について考えよう
7	関連する教科・領域	社会科
8	単元の目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・高レベル放射性廃棄物の存在を知り、その処分について関心を持つ。 ・高レベル放射性廃棄物の処分について自分なりの考えを持つ。 ・メディアを活用し、高レベル放射性廃棄物に関する情報を集めることができる。 ・高レベル放射性廃棄物の存在を知り、その処分について検討されている方法の概要を理解する。
9	グローバル・スタディーズとしての目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・高レベル放射性廃棄物の存在を知り、処分方法について自分の考えを持つことができる。 ・グローバル社会に見られる課題を知る。 ・社会的な課題に対するさまざまな捉え方があることを理解することができる。 ・世界の人々とともに生きていくための課題の解決に自分がどのように関わるかを考えることができる。
10	単元の評価規準【教科・領域として】	<ul style="list-style-type: none"> ・高レベル放射性廃棄物の処分について自分なりの考えを持つことができるか。 ・メディアを活用し、高レベル放射性廃棄物に関する情報を集めることができるか。
11	単元の評価規準【グローバル・スタディーズとし	・高レベル放射性廃棄物の存在を知り、処分方法について自分の考えを持つことができるか。
12	単元計画	全5時間 高レベル放射性廃棄物の存在や処分方法について知り、考える。（1時間） 高レベル放射性廃棄物についてタブレットPCを使い、調べ、交流する。（3時間） 高レベル放射性廃棄物の処分方法について考えよう。（1時間） ※本時
13	本時の目標	高レベル放射性廃棄物について調べてきたことを元に、処分方法を決定するときに大切なことは何か考え、自分の考えを表現することができる。
14	本時の展開	《別紙指導案を参照》
15	グローバル・スタディーズとしての特徴	現世代が向き合うべきである課題「高レベル放射性廃棄物」について知り、自分が設定した問いについてタブレットPCを活用し、情報を集め、処分方法について考えることで、自分の考えを持つことができる。

16 授業者から一言	<p>大人でも難しいテーマに対し、子どもたちは自分で調べたことや友だちの調べたことの交流から知識を蓄え、子どもたちは粘り強くテーマについて取り組むことができた。本実践は4年生で行なったが、公民などを行なった6年生の3学期に行なってもいいのではないかと考えた。</p>
------------	---

グローバル・スタディーズとしての目標

高レベル放射性廃棄物の存在を知り、処分方法について自分の考えを持つことができる。

グローバル・スタディーズとしてのねらい

- ・グローバル社会に見られる課題を知る。
- ・社会的な課題に対するさまざまな捉え方があることを理解することができる。
- ・世界の人々とともに生きていくための課題の解決に自分がどのように関わるかを考えることができる。

1. 教科名 社会

2. 単元名 暮らしをささえる「くらしとごみ」

3. カリキュラム名 「高レベル放射性廃棄物について考えよう」

4. 教材とグローバル人材育成の接点

エネルギーは日常生活や経済に欠かせないものである。そのためエネルギーに関する問題は身近で緊急でみんなで考えなくてはならない問題である。2011年3月の東日本大震災の発生及び東京電力福島第一原子力発電所の事故後、我が国が抱える構造的課題をニュースなどで目にする機会が増えたように思う。そうした構造的課題と東京電力福島第一原子力発電所事故及びその前後から顕在化してきた課題を抽出した上で、エネルギー政策の基本方針として、これまでの「3E (Energy Security, Economic Efficiency, Environment)」という基本的視点に、安全性の確保「S (Safety)」の重要性、国際的な視点の重要性、経済成長の視点の重要性について加味している。エネルギーに関する問題に関する問題の1つに、高レベル放射性廃棄物の問題がある。高レベル放射性廃棄物の問題は今後の我が国のエネルギー政策(原子力発電の動向)に関わらず、考えていかないといけない問題である。原子力発電を選択すればさらにその重要性は高まる。この問題は我が国だけでなく、原子力発電を進めてきた先進国に共通する問題であり、原発の方向性とは別に各国が直面している課題である。そこでこの問題がグローバル社会を考える一つの切り口になると考えた。

1時間目には、日本で最もやっかいなゴミは何かについて既習や既有体験をもとに考えるところからスタートした。その後日本で最もやっかいなゴミが高レベル放射性廃棄物であることを伝え、NUMOが作成したリーフレットを読み、高レベル放射性廃棄物について知った。その上で、「もし自分が処理方法を決める担当者なら、どのような優先順位を決めるのか」という立場で高レベル放射性廃棄物の5つの処理方法について、順番を決め、その理由を交流する活動を行なった。授業の最後には高レベル放射性廃棄物に関して、自分が調べたいことや疑問を明らかにした。2、3時間目には自分が調べたいことや疑問についてタブレットPCを使い調べ、アプリの機能を使い、調べたことをまとめた。4時間目には他者のまとめをみて、気になったことや知ったことなどを自分のノートにまとめていった。またファンレターと題し、まとめの感想をお互いに送りあう時間も設定した。ファンレターとしているため、プラスのことが書かれているため、児童からは大変好評であった。本時では高レベル放射性廃棄物の処分方法を決定するうえでの「何よりも気をつけないといけないこと」はなにかと児童に投げかけ、考えていく活動を通して、高レベル放射性廃棄物についてより身近な問題としてとらえさせていきたい。

5. 単元の目標

- ・高レベル放射性廃棄物の存在を知り、その処分について関心を持つ。
- ・高レベル放射性廃棄物の処分について自分なりの考えを持つ。
- ・メディアを活用し、高レベル放射性廃棄物に関する情報を集めることができる。

- ・高レベル放射性廃棄物の存在を知り、その処分について検討されている方法の概要を理解する。

6. 単元計画（全5時間）

- ・高レベル放射性廃棄物の存在や処分方法について知り、考える（1時間）
- ・高レベル放射性廃棄物についてタブレットPCを使い、調べ、交流する。（3時間）
- ・高レベル放射性廃棄物の処分方法について考えよう。（1時間・・・本時）

7. 本時について

- ・日 時 平成30年2月5日（月） 第6校時（14:35～15:30）
- ・学年・組 4年2組
- ・場 所 4年2組教室
- ・本時の目標

高レベル放射性廃棄物について調べてきたことを元に、処分方法を決定するときの難しさについて考え、自分の考えを表現することができる。

- ・ 本時の展開

学習の内容と活動	指導上の留意点
1. 前時のふりかえりをする。	○前時までに行なった他者の調べたことから発見した気づいたことや新たな発見などを全体で交流することで、高レベル放射性廃棄物についての知識や理解を深める。
2. 問題を把握する。	
<div>(高レベル放射性廃棄物の) 処分方法を決定するうえで気をつけないといけないことは何か。</div>	
3. 自分の考えを書き、全体で交流する。	○自分の考えを書き、立場を表明することで、今後の活動をより主体的・対話的に取り組めるように促す。 ○金銭面、環境面、設備面などの観点ごとに構造的に板書をしていく。
4. 「何よりも気をつけないといけないこと」という視点のもと考えを絞り込む。	○なぜそれが「何よりも気をつけないといけないこと」なのか理由を交流することで、理解を深める。
5. ふりかえりをする。	○単元を通しての高レベル放射性廃棄物の学習について、自分の言葉で表現する場を設定し、タブレットPCで共有させることで、学びを深める

- ・評価

処分方法を決定するときの難しさについて考え、自分の考えを表現することができたか（タブレットPC、ノート、発言）

社会科学習指導略案

授業者 樋口万太郎

○本時の目標

・高レベル放射性廃棄物について知り、その処分方法について考える活動を通して、自分の考えを表現することができる。

○本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価
1. 日常生活の中で出るゴミの中で、「やっかい」だと思うゴミについて交流する。	○日常生活の中でやっかいなゴミ、そしてそう思った理由を交流することで、「やっかいな」という視点で考えるための視点を作る。	
2. 日本で最もやっかいなゴミが何かを予想する。	○予想させることで、今後の活動をより主体的・対話的に取り組めるように促す。 ○子どもたちの考えを構造的に板書することで、次の活動で「高レベル放射性廃棄物」についての興味を高める。	
3. 日本で最もやっかいなゴミが高レベル放射性廃棄物であることを知り、リーフレットを読む	○リーフレットを使い、「高レベル放射性廃棄物」について確認する。	
4. リーフレットを読んだ感想を交流する。	○子どもたちの正直な思いや既有知識を交流することで、高レベル放射性廃棄物に関する興味を高める。	・自分の考えを表現できているか。
5. 高レベル放射性廃棄物の5つの処理方法について、順番を決める。	○「もし自分が処理方法を決める担当者なら、どのような優先順位を決めるのか」という立場で考えさせる。	・処分方法について考えることができるか。
6. 順番やその理由を交流する。	○交流していく中で、「保管する方法が否定的な理由」などのそれぞれの処理方法のプラス面やマイナス面を明らかにしていく。	
7. 日本は「地下深く埋めたことを選択した」ことを知り、それについての思いを表現する。	○自分の思いを表現させることで、次時以降の調べ学習の意欲を高める。	
8. ふりかえりをする。		